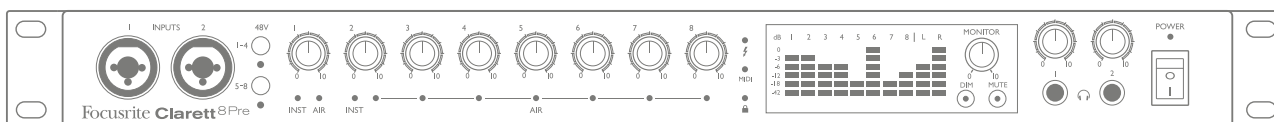


Clarett 8Pre

ユーザーガイド



目次

概要	3
はじめに	3
特徴	4
同梱物	4
システム要件	4
さあ、始めましょう	5
ソフトウェアのインストール	5
各部の名称と特徴	6
フロントパネル	6
リアパネル	8
Clarett 8Pre を接続する	9
コンピュータのオーディオセットアップ	9
DAW でのオーディオセットアップ	9
Clarett 8Pre をラウドスピーカーに接続する	10
使用例	11
1. バンドのレコーディング	11
2. オプティカル接続の使用	13
3. スタンドアローンのミキサーとしての使用	14
FOCUSRITE CONTROL - 概要	15
Clarett 8Pre 技術仕様	16
性能仕様	16
物理的特性と電気的特性	17
トラブルシューティング	18
著作権表示と法定通知	18

概要

警告:イヤホンやヘッドフォンからの音圧レベルが高すぎると、聴力障害を引き起こす恐れがあります。

警告: 本製品を Thunderbolt™ ポート以外に接続しないでください。

はじめに

Focusrite Clarett 8Pre をご購入いただきありがとうございます。Clarett 8Pre はプロフェッショナル用 Thunderbolt™ オーディオインターフェースのシリーズの 1 つであり、独自の 'AIR' 機能を備えた新設計の高品質 Clarett アナログプリアンプを搭載しています。Focusrite Control アプリケーションと組み合わせて使用することで、コンピュータレコーディングシステムとの間で高品質のオーディオを超低レイテンシーでルーティングすることができ、多目的かつプロフェッショナルなニーズに答えます。

また、一度 Focusrite Control ソフトウェアで設定すれば、その他のレコーディング機器に対するスタンドアロンのインターフェースとして Clarett 8Pre を使用することもできます。

本ユーザーガイドでは、本製品の操作上の機能を十分理解していただくために、本体について詳しく説明しています。Clarett 8Pre が持つ全ての可能性を把握していただくために、コンピュータベースのレコーディングが初めての方や既に経験豊富な方を問わず、あらゆる方に本ガイドを最後までよく読んでいただくことを推奨します。

重要: 本ユーザーガイドに加え、Focusrite Control ソフトウェアガイドを読んでいただくことを推奨します。

ソフトウェアガイドは、<http://uk.focusrite.com/downloads> よりダウンロードが可能です。これには、Focusrite Clarett インタフェースで使用するために特別に設計されたソフトウェアアプリケーション Focusrite Control の詳細が記載されています。

いずれのガイドからも必要な情報が得られない場合は、一般的なテクニカルサポートへの問い合わせに対する一般的な回答を含むウェブページ、<http://www.focusrite.com/answerbase>を参照してください。

特徴

Clarett 8Pre ハードウェアインターフェースは、コンピュータの Thunderbolt™ ポートを使用することで、マイク、楽器、ラインレベルのオーディオ信号およびデジタルオーディオ信号をコンピュータに接続することができます。入力部には接続された信号は、オーディオレコーディングソフトウェア/デジタルオーディオワークステーション（本ユーザーガイド全体で「DAW」と称します）にルーティングすることが可能です。同様に、DAW からの出力を本体の出力部に送るように設定することができます。

マイク、楽器などのオーディオソースを DAW に録音し、アンプやスピーカー、パワードモニター、ヘッドフォン、ミキサー、その他のアナログやデジタルオーディオ機器を使用して再生することができます。Clarett 8Pre の全ての入出力は録音や再生の際 DAW に直接ルーティングされますが、Focusrite Control アプリケーション内で任意のルーティングを設定して正確なニーズに合わせることも可能です。ルーティングに関する詳細は、Focusrite Control ユーザーガイドを参照してください。

また Clarett 8Pre には、その他のデジタルオーディオ機器との同期を行うために、MIDIデータの送受信やワードクロックを外部デバイスに伝送するためのコネクタも搭載されています。

Clarett 8Pre の重要な特徴として、最新型の設計が施されたアナログプリアンプが挙げられます。クラス最高のダイナミックレンジと、必要とされる全てのゲインを供給する機能に加えて、エキサイティングな新しい 'AIR' 機能が回路内に含まれています。各チャンネルで個別に選択可能な 'AIR' は、プリアンプの周波数特性をわずかに変更することで、Focusrite の伝統的なランズフォーマーベースの ISA マイクプリアンプのインピーダンスとレゾナンスをエミュレートします。クオリティの高いマイクで録音を行った際には、ボーカルや多くのアコースティック楽器にとって最も必要とされる、中高域の周波数の明瞭さと鮮明度がより向上されます。

付属のソフトウェアアプリケーション **Focusrite Control** は、ユーザーの操作を最小限に抑えるように設計されているため、最も一般的なレコーディングタスクに適した信号ルーティングで Clarett 8Pre を簡単に設定できます。より複雑なシチュエーションで使用する場合には、詳細なルーティングおよびモニタリングオプション、サンプルレートや同期などの一般的なハードウェア設定を制御することができます。

Clarett 8Pre の全ての入力、録音の際 DAW ソフトウェアに直接ルーティングされますが、Focusrite Control を使用することで、本体内のこれらの信号を内部的に出力へとルーティングすることも可能です。これにより、必要に応じてお使いの DAW に信号が達する前に超低レイテンシーでオーディオ信号をモニターすることができます。

同梱物

Clarett 8Pre には以下が付属します：

- IEC コネクタ付属 AC 電源ケーブル
- 次のオンラインリソースにアクセスするためのコードを含む重要な情報：
 - 該当するドライバ
 - 1GB の Loopmasters サンプル集
 - Focusrite Control
 - Focusrite Red 2/Red 3 プラグインスイート

システム要件

重要 – 全ての Clarett 製品のコンピュータおよびオペレーティングシステムの互換性に関する最新情報については、以下のリンクを参照してください：

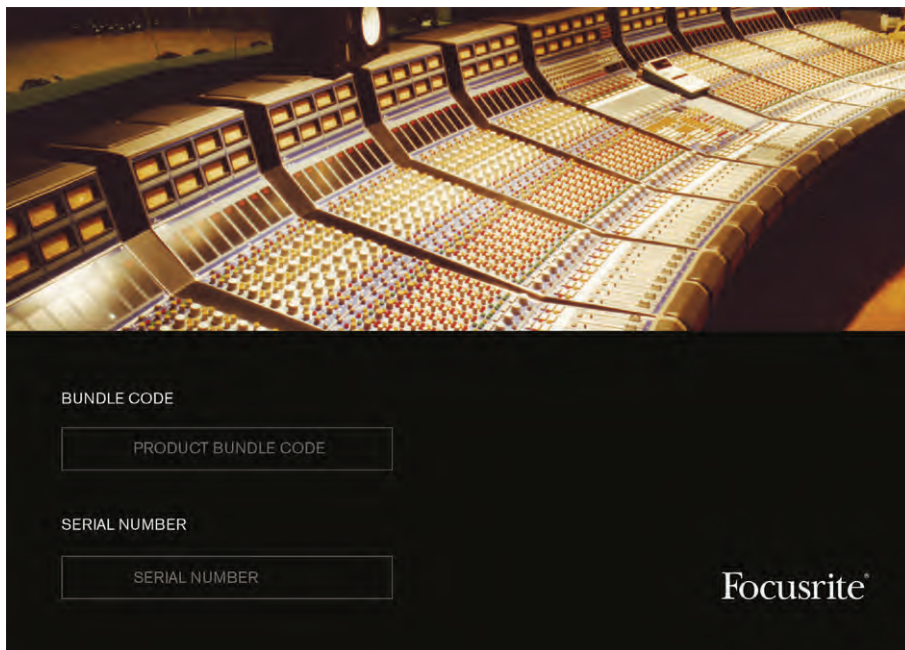
www.focusrite.com/clarett/compatibility

さあ、始めましょう

重要：インターフェースをコンピュータに接続する前に、Clarett 8Pre ドライバをインストールしておいてください。

ソフトウェアのインストール

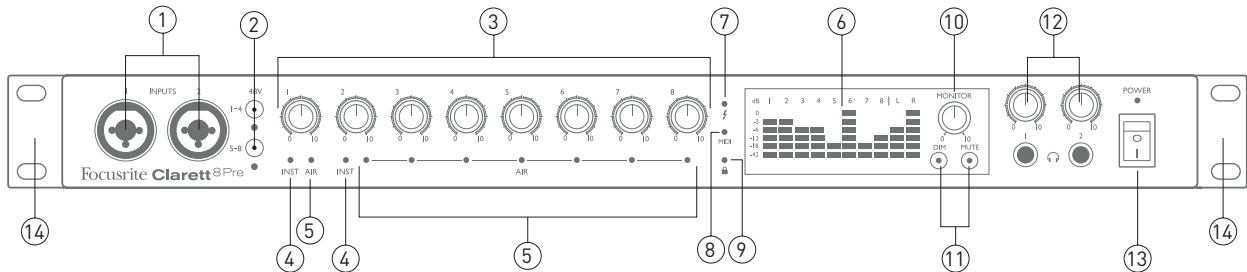
Clarett 8Preが必要とする全てのソフトウェアには強力かつ便利な追加機能が含まれており、Focusrite ウェブサイト (www.focusrite.com/register) よりダウンロードが可能です。Clarett 8Pre に付属する重要な情報には、上記のウェブアドレスで入力する必要のある認証コードが含まれます。この手順を踏んでいただくことで、最新のソフトウェアバージョンが確実にインストールされます。



1. 通常使用されるブラウザで、www.focusrite.com/register/にアクセスします。
2. 画面上の指示に従って、バンドルコードを入力します。バンドルコードは、ユニットに梱包されているカードに記載されています。
3. すると「My Product」ページにアクセスできるようになるので、こちらで登録した製品のソフトウェア製品をダウンロードが可能です。また製品には、必要に応じてアクティベーションコードが含まれています。
4. Clarett 8Pre ドライバをダウンロードしてインストールします。画面上の全ての指示に従います。
5. インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。
6. 再起動後、Clarett 8Pre を Thunderbolt ケーブルでコンピュータに接続します。
7. 使用を始める際に不明な点がある場合は、こちらの動画ガイドをご覧ください。
www.focusrite.com/get-started

各部の名称と特徴

フロントパネル

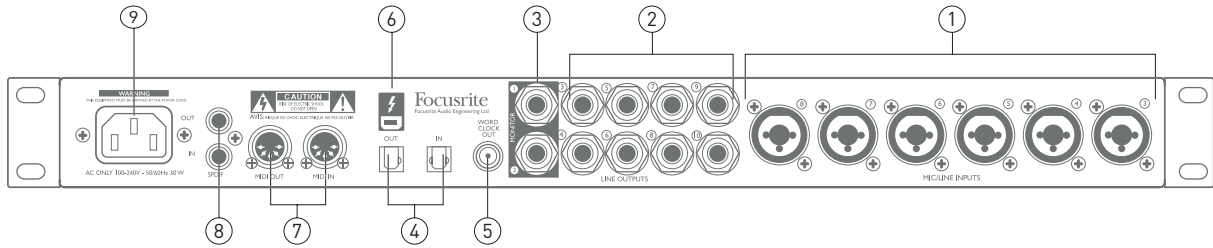


フロントパネルには、すべての入力ゲインとモニタリングコントロールに加えてマイク、ラインおよびインストゥルメント信号用の2つの入力コネクタが備わっています。

1. **INPUT1 & 2** - コンボ XLR 入力ソケット - 必要に応じて XLR または 1/4 インチジャックでマイク、楽器（ギターなど）またはラインレベル信号を接続します。楽器またはラインレベル信号には、TRS（バランス）または TS（アンバランス）ジャックプラグのどちらか一方を使用することができます。
2. **48V** - 2つのスイッチを使用して、マイク入力 1-4 と 5-8 それぞれのコンビコネクタの XLR 接点で 48V ファンタム電源を有効にします（注意：入力 3-8 はリアパネルに備わっています）。ファンタム電源がオンの場合、それぞれの赤い LED が点灯します。
3. **ゲイン 1 - 8** - 8つのロータリーコントロールで Input 1-8 の信号の入力ゲインをそれぞれ調整します。
4. **INST** - Focusrite Control ソフトウェアによって、Input 1 または 2 のジャック部分が INST モードに選択されている際に、赤色の LED が点灯します。INST が選択されると、ゲインレンジと入力インピーダンスが変更され（ライン入力に対して）、入力がアンバランスになります。これにより、2極（TS）ジャックプラグを使用して楽器を直接接続できるように最適化が行われます。INST がオフの場合、入力部はラインレベル信号の接続に適しています。ラインレベルの信号は、3極（TRS）ジャックによるバランス入力、または 2極（TS）ジャックによるアンバランス入力のいずれかで接続することができます。
5. **AIR** - Focusrite Control からの各入力に対して 'AIR' 機能が選択された際に黄色の LED が点灯します。'AIR'では、入力部の周波数特性を変化させることによって、伝統的なトランスバースの Focusrite ISA マイクプリアンプをモデリングします。
6. **Meters** - 6段階の LED バーグラフメーターで、a) 8つのアナログ入力信号レベル（メーター **1** ~ **8**）、b) **MONITOR 1** および **2** 出力での信号レベル（メーター **L** および **R**）を示します。入力メーターでは、入力ゲインステージの後の段階の信号レベルが示されるため、これらの表示はゲインコントロールによって変化します。出力メーターでは、モニターレベルコントロール [10] の前の段階の信号レベルが示されるため、表示は変化しません。LED は、-42（緑、信号ありの状態）、-18 および -12dBFS（緑）、-6 および -3dBFS（黄）、0dBFS（赤）といった形で点灯します。0dBFS のレベルはデジタルクリッピングの可能性を示すため、この状態にならないよう常に気をつけておく必要があります。
7. **⚡** - 本体がコンピュータとの接続を認識した際に緑色の LED が点灯します。
8. **MIDI** - リアパネルの MIDI IN ポートに MIDI データを受信している場合に緑色の LED が点灯します。

9. **LOCKED** – Clarett 8Pre の内部クロックまたは外部デジタル入力のいずれかに対するクロック同期を示す緑色の LED。
10. **MONITOR** – メインモニター出力レベルコントロール – このコントロールは通常リアパネルのメインモニター出力のレベルを制御しますが、Focusrite Control で構成することで、本体に備わった 10 個のアナログ出力のいずれのレベルをも調整することが可能です。
11. **DIM** および **MUTE** – Clarett 8Pre のモニター出力を制御する 2 つのスイッチ。**DIM** は 18dB ずつ出力レベルを下げるのに対し、**MUTE** では出力をオフにします。デフォルトでは、これらのスイッチはメインモニター出力 1 と 2 に影響を与えませんが、アナログ出力のいずれにでも作用するよう Focusrite Control で設定が可能です。この機能が選択されると、それぞれのスイッチが内部で点灯します（DIM：黄色、MUTE：赤色）。
12. **HP1** および **HP2** – 1 つまたは 2 つのステレオヘッドフォンをコントロールの下の 2 つの 1/4 インチ（6.25mm）TRS ジャックソケットに接続します。ヘッドフォン出力は常に Focusrite Control でアナログ出力 7/8 および 9/10 に（ステレオペアとして）現在ルーティングされている信号を伝送します。
13. **POWER** – AC 電源スイッチおよびオンを示す LED。
14. 標準 19 インチのラックに Clarett 8Pre を取り付けるためのラックイヤー。

リアパネル



1. **MIC/LINE INPUT 3 - 8** - コンボ XLR 入力ソケット - 必要に応じて XLR または 1/4 インチジャックで追加のマイクまたはラインレベル信号を接続します。ラインレベル信号には 1/4 インチ TRS (バランス) または TS (アンバランス) ジャックプラグを使用できます。
2. **LINE OUTPUT 3 - 10** - 1/4 インチ (6.35mm) ジャックソケットの 8 つのバランスアナログライン出力。バランス接続には TRS ジャック、アンバランス接続には TS ジャックを使用します。これらの出力にルーティングされる信号は Focusrite Control で定義され、一般的にはミッドフィールド、ニアフィールドなどのスピーカー、マルチチャンネルモニタリングシステム用の追加スピーカー、またはアウトボード FX プロセッサにオーディオを送るために使用できます。
3. **MONITOR 1** および **2** - 1/4 インチジャックソケット上の 2 つのバランスアナログライン出力。バランス接続には TRS ジャック、アンバランス接続には TS ジャックを使用します。これらは本システム内で LINE OUTPUT 1 および 2 を担い、モニタリングシステムにおけるメインの L/R スピーカーを駆動するために使用されます。出力部への信号のルーティングは Focusrite Control でカスタマイズが可能です。
4. **OPTICAL IN** および **OUT** - 44.1/48kHz サンプルレートのデジタルオーディオのチャンネルを 8 つ、88.2/96kHz では 4 つ、176.4/192kHz では 2 つの伝送を ADAT フォーマットで実現する TOSLINK コネクタ。Clarett 8Pre へ/からの追加の入出力として機能します。**OPTICAL IN** コネクタを代わりに使用して、オプティカル S/PDIF 出力を搭載した外部ソースから 2 つのチャンネルの S/PDIF 信号を受け取ることも可能です。Focusrite Control で選択します。
5. **WORD CLOCK OUTPUT** - Clarett 8Pre のワードクロックを伝送する BNC コネクタ。レコーディングシステムの一部を形成するその他のデジタルオーディオ機器と同期するために使用します。Clarett 8Pre が使用するサンプルクロックの同期先は、Focusrite Control から選択されます。
6. **Thunderbolt™** - Thunderbolt™ コネクタ。適切な Thunderbolt™ ケーブルを使用して、Clarett 8Pre をコンピュータに接続します。
7. **MIDI IN** および **MIDI OUT** - 外部 MIDI 機器を接続するための標準 5 ピン DIN ソケット。コンピュータから/へ MIDI データを伝送し、追加の MIDI デバイスに分配することができます。
8. **SPDIF IN** および **OUT** - 2 チャンネルのデジタルオーディオ信号を S/PDIF 形式で Clarett 8Pre から/へ伝送する 2 つのフォノ (RCA) ソケット。他の全ての入出力と同様に、S/PDIF 信号のルーティングは Focusrite Control でカスタマイズが可能です。
9. **AC 電源** - IEC 規格コンセント。Clarett 8Pre には広く使用していただける電源が備わっており、100V ~ 240V、50Hz または 60Hz のいかなる AC 電源の電圧に対応しています。

Clarett 8Pre を接続する

重要： Clarett 8Pre をコンピュータに接続する前に、ページ 5 の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了してください。
これにより、ハードウェアが正しいドライバを使用し、予期せぬ動作を防ぎます。

Clarett 8Pre は、付属の AC 電源ケーブルで AC 電源に接続する必要があります。IEC コネクタをリアパネルの IEC コンセントに差し込み、フロントパネルの電源スイッチで本体の電源を入れます。

Clarett 8Pre には Thunderbolt™ ポート（リアパネル）が備わっています。ソフトウェアのインストールが完了したら、Thunderbolt™ ケーブルを使用して Clarett 8Pre をコンピュータに接続します。

コンピュータのオーディオセットアップ

お使いの OS は、Clarett 8Pre をデフォルトのオーディオデバイスとして自動的に認識します。必要に応じて、この選択が正しく行われているか確認することができます。様々なオペレーティングシステムで確認する方法に関しては、www.focusrite.com/clarett8Pre-getstarted を参照してください。

DAW でのオーディオセットアップ

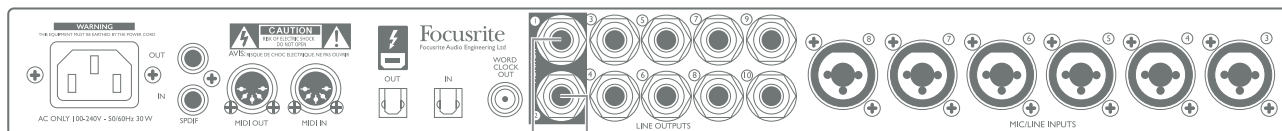
ドライバをインストールして本体を接続したら、DAW と一緒に Clarett 8Pre を使用することができます。

注意；DAW が Clarett 8Pre をデフォルトの I/O デバイスとして自動的に選択しない場合があります。この場合、DAW の **オーディオ環境設定*** ページで手動で **Focusrite Thunderbolt** ドライバを選択する必要があります。オーディオデバイスとして Clarett 8Pre を選択する場所が不明な場合は、DAW のマニュアル（またはヘルプファイル）を参照してください。

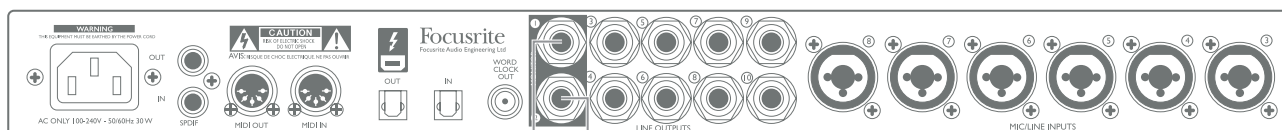
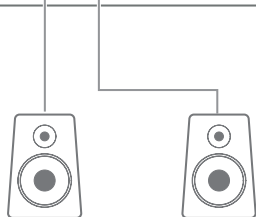
*一般的な呼称 - 名称は DAW によって異なる場合があります

Clarett 8Pre をラウドスピーカーに接続する

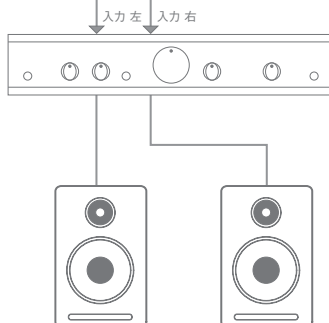
リアパネルの 1/4 インチジャック **MONITOR** 出力（LINE OUTPUTS 1 および 2）は、通常モニタリングスピーカーの駆動に使用されます。アンプ内蔵型モニター（コンピュータに内蔵されているスピーカーなど）では、内部にアンプが組み込まれているため直接接続することができます。パッシブラウドスピーカーには別途ステレオアンプが必要です。この場合、リアパネルの出力部とアンプの入力部を接続する必要があります。



アクティブスピーカーの接続



パッシブスピーカーの接続



全てのライン出力コネクタは、3 極 (TRS) 1/4 インチジャックソケットであり、バランス接続です。一般的な家庭用 (Hi-Fi) アンプと小型パワーモニターには、フォノ (RCA) ソケットまたはコンピュータに直接接続するための 3.5mm 3 極ジャックプラグ経由のいずれかにアンバランス入力があります。いずれの場合も、一端にジャックプラグの付いた適切な接続ケーブルを使用します。

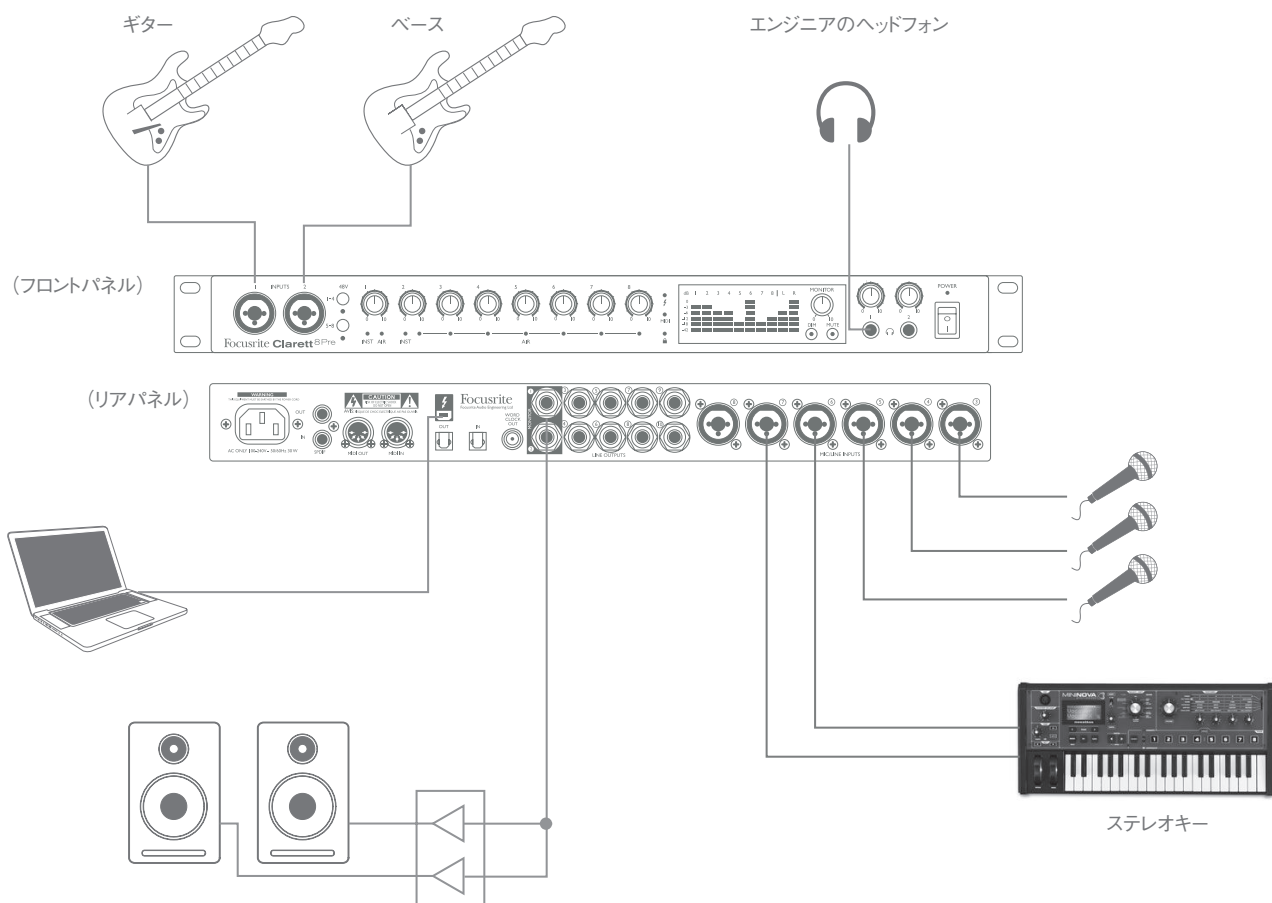
プロフェッショナル用パワーアンプは一般的にバランス入力を備えています。

ミキシングを行う際に、複数のスピーカーのペア（ミッドフィールド、ニアフィールドなど）を出力のペアに接続し、Focusrite Control を使用してミックスを別々の出力にルーティングして、異なるスピーカーからミックスをチェックすることも可能です。

使用例

Clarett 8Pre は、多くのレコーディングおよびモニタリングアプリケーションにとって優れた選択肢となります。一般的な構成例をいくつか以下に示します。

1. バンドのレコーディング



このセットアップでは、コンピュータで DAW ソフトウェアを使用して行うマルチトラックレコーディングの一般的な構成を示しています。

ソースの選択 - 上図では、マイクと 2 つのギター、そしてキーボードが Clarett 8Pre の入力部に接続されています。注意: Input 1 と 2 のみが直接楽器を接続できるよう設定が可能です。この例では、ギターを Input 1 と 2 に接続しています。Focusrite Control で Input 1 と 2 を INST モードに設定し、INST LED が点灯していることを確認してください。

DAW ソフトウェアを実行しているコンピュータには、Thunderbolt™ ケーブルを使用して本体が接続されています。これにより、DAW と Clarett 8Pre 間で全ての入出力信号が伝送されます。DAW 上でオーディオセットアップが正しく構成されると、各入力元は DAW のそれぞれのレコーディングトラックに自動的にルーティングされます。

レイテンシーについて

デジタルオーディオシステムに関連して「レイテンシー」という用語を聞くことがよくあるかと思います。上記のような DAW レコーディングアプリケーションの場合、レイテンシーとは、お使いのコンピュータおよびオーディオソフトウェアを入力信号が通過し、オーディオインターフェース経由で再度戻ってくるまでにかかる時間です。しかし、既にレイテンシーの問題は徐々に過去のものとなっており、Clarett 2Pre で使用される Thunderbolt™ インターフェースは、従来の USB または FireWire インターフェースよりもはるかに高速な伝送を行えます。これにより、ほとんどノーレイテンシーの状態で DAW からレコーディングをモニターすることが可能となりました。

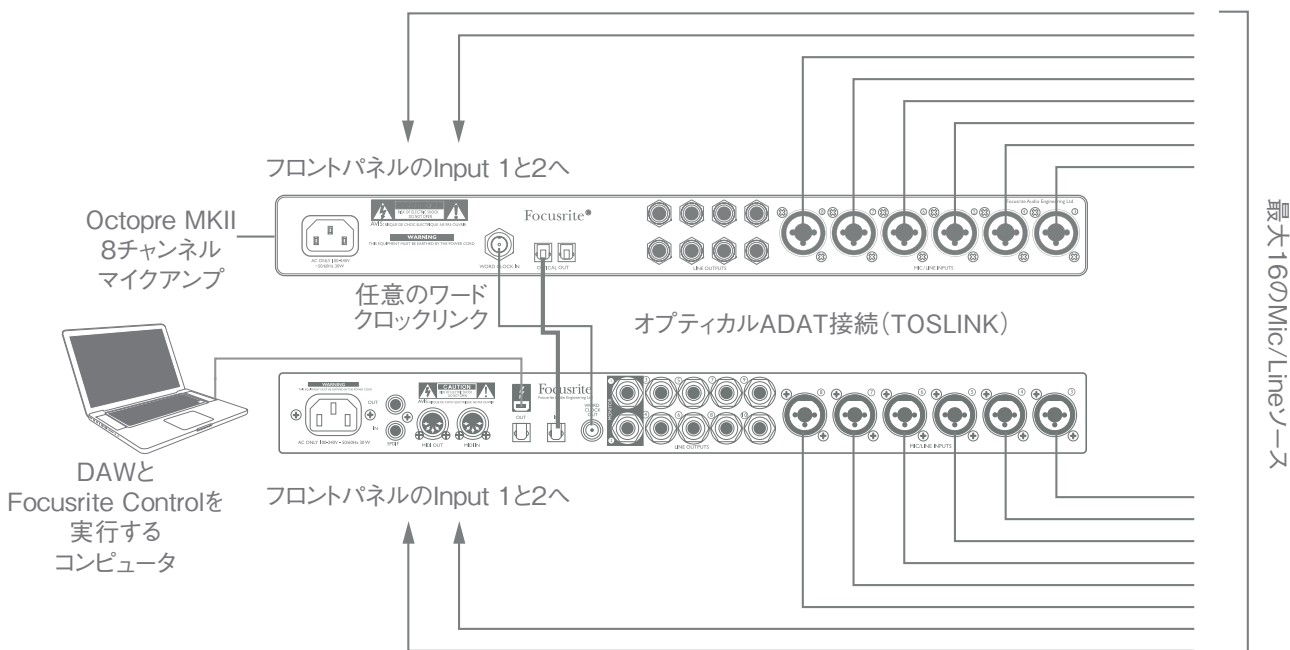
しかし、2つの例外が考えられます。1つは、レコーディングバッファサイズを高い値に設定する必要がある際、ソフトウェアインストゥルメントやエフェクトなど多数のオーディオチャンネルを使用して大きなセッション内でオーバーダブを行う場合です。これに対処するため、Focusrite Control では Clarett 8Pre の入力部からモニターを直接供給するよう設定することができます。このような入力モニタリングを選択しなければならないもう一つの状況として、複数の演奏者が同時にライブレコーディングを行っている際に、各演奏者がそれぞれ独自でカスタムしたフォールドバックミックスを必要とする場合です。Focusrite Control では、最大 8 つのステレオミックス（16 モノミックス）をそれぞれ構成することができ、現在入力されている信号と、既に録音されたている DAWトラックを含ませることができます。

入力信号からのモニターミックスを聞く場合には、録音を行っている DAW チャンネルがミュートされていることを確認してください。そうでない場合、一つの信号がエコーとして遅れて聞こえてしまうため、演奏者には自身の音声は二度聞こえてしまいます。

モニターミックスの設定の詳細については、Focusrite Control ユーザーガイドを参照してください。

2. オプティカル接続の使用

8つのアナログ入力に加え、Clarett 8PreにはADAT入力ポート(OPTICAL IN)が搭載されています。これにより、44.1/48kHzのサンプルレートで8つのオーディオ入力を、88.2/96kHzで4つ、または176.4/192kHzで2つのオーディオ入力を追加することができます。Focusrite OctoPre MkIIなどのADAT出力を搭載した8チャンネルマイクプリアンプを別途使用することで、Clarett 8Preの入力機能を簡単に拡張することができます。



1本のTOSLINKオプティカルケーブルを使用して、OctoPre MkIIの**OPTICAL OUT**ポートがClarett 8Preの**OPTICAL IN**ポートに接続されています。Clarett 8Preの**WORD CLOCK**出力をOctoPre MkIIの**WORD CLOCK IN**に接続し、それを同期ソースとして使用するようOctoPre MkIIを設定することで、安定したワードクロック同期を実現できます。または、Clarett 8Preの**OPTICAL IN**ポートのADATフォーマット信号を元に同期を行うよう(Focusrite Control内で)設定することも可能です。

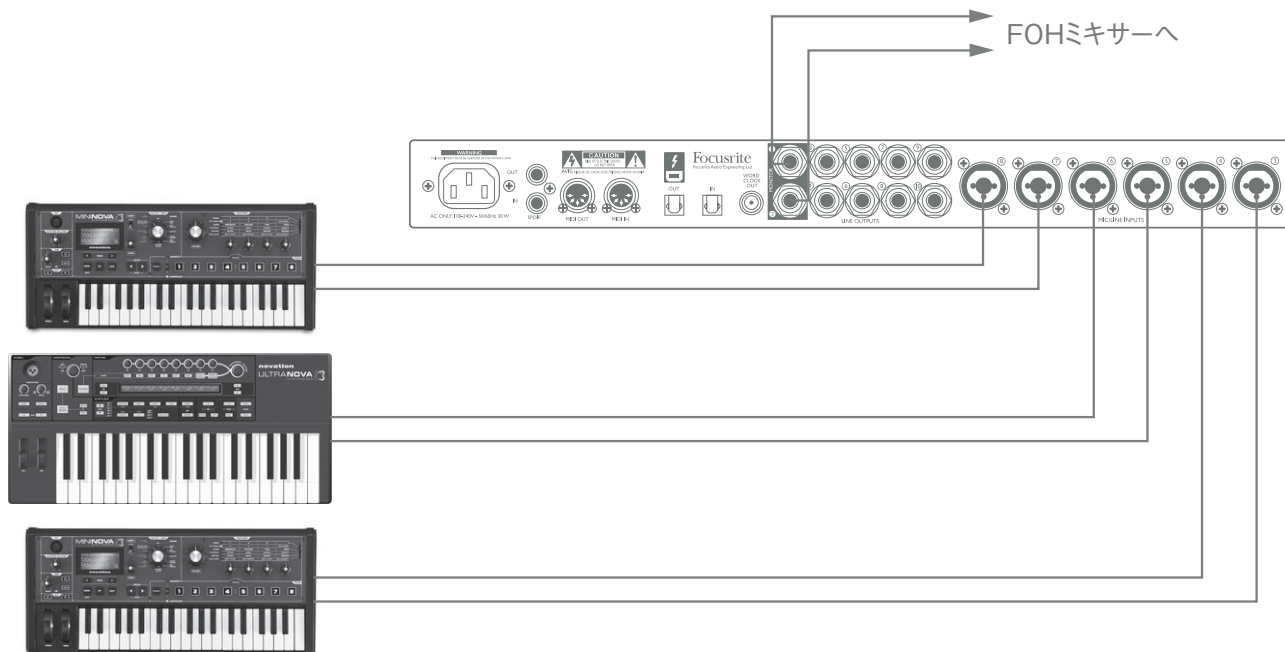
注意：2つのデジタル機器を相互接続する際は、いかなる場合にも必ずこれら両方の機器を同一のサンプルレートに設定してください。

オプティカルポートの使用によって追加された入力は、Focusrite Controlを使用することで、その他の入力と全く同じ方法でルーティングを行うことが可能です。必要に応じて、追加された入力をミュージシャンのヘッドフォンミックスに加えることができます。

ADAT入力に適したD/Aコンバーターが使用できる場合、**OPTICAL OUT**ポートは、逆の方法で使用できます。例えば、DAWからの追加の出力を外部のミキシングコンソールに使用してアナログに変換することで多数のDAWトラックをミックスダウンできるようになります。

3. スタンドアローンのミキサーとしての使用

Clarett 8Pre には、Focusrite Control で設定したミックスの構成を本体に保存できる機能があります。例えば、コンピューターを使用してステージ上のキーボードのミキサーとして設定し、その設定を本体にアップロードするといったことが可能です。キーボード装置の一部を構成するシンプルなラックマウントミキサーとして Clarett 8Pre を使用し、複数のキーボードの全体的なミックスを制御することができます。



ここで示されている例では、3つのステレオキーボードが Clarett 8Pre のリアパネルの入力部に接続され、Output 3 および 4 はメインの PA システムに接続されています。演奏者は、フロントパネルからそれぞれのキーボードのボリュームを調整したり、スピーカーを通してキーボードミックスのレベルを調整することも可能です。

FOCUSRITE CONTROL - 概要

Focusrite Control は Clarett 8Pre と一緒に使用するソフトウェアアプリケーションであり、各演奏者のためにカスタムモニターミックスを作成したり、全てのオーディオ信号を本体のオーディオ出力部にルーティングすることができます。サンプルレート選択、デジタル同期、バッファサイズ設定（Windows のみ）を Focusrite Control で行うことが可能です。

Focusrite Clarett シリーズの全製品で Focusrite Control を使用することができます。コンピュータに Clarett インターフェースを接続し、Focusrite Control を起動すると、インターフェースが自動的に検出され、本体上で使用可能な入出力、およびその他の機能の数に合わせてソフトウェアが構成されます。

Focusrite Control には専用のユーザーガイドが用意されており、ソフトウェアの全ての側面に関する詳細な操作手順が記載されています。<http://www.focusrite/downloads>よりダウンロードが可能です。

Clarett 8Pre 技術仕様

性能仕様

構成	
入力	18 : アナログ (8)、S/PDIF (2)、ADAT (8)
出力	20 : アナログ (10)、S/PDIF (2)、ADAT (8)
ミキサー	完全に割り当て可能な 30 イン/16 アウトミキサー
デジタル性能	
対応サンプルレート	44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz
マイク入力	
周波数特性	20Hz - 20kHz +/-0.1dB
ダイナミックレンジ	118dB (A特性)
THD+N	0.001%
ノイズ EIN	-128dBu (A特性)
最大入力レベル	+18dBu
ゲインレンジ	57dB
ライン入力	
周波数特性	20Hz - 20kHz +/-0.1dB
ダイナミックレンジ	118dB
THD+N	0.005%
最大入力レベル	+26dBu
ゲインレンジ	+57dB
楽器入力	
周波数特性	20Hz - 20kHz +/-0.1dB
ダイナミックレンジ	111dB (A特性)
THD+N	0.001%
最大入力レベル	+14dBu
ゲインレンジ	+57dB
ラインおよびモニター出力	
ダイナミックレンジ (ライン出力)	119dB
ダイナミックレンジ (モニター出力)	117dB
THD+N	0.0007%
最大出力レベル (0dBFS)	+18dBu、バランス
ヘッドフォン出力	
ダイナミックレンジ	112dB
THD+N	0.0008%
最大出力レベル	+16dBu

物理的特性と電気的特性

アナログ入力 Input 1 & 2	
コネクタ	コンボ XLR ソケット：フロントパネルの Mic/Line/Inst
Mic/Line 切替	自動
ライン/楽器切替	Focusrite Control 経由
ファンタム電源	入力 1～4、5～8 用の +48V スイッチ
アナログ入力 3～8	
コネクタ	コンボ XLR ソケット：リアパネルの Mic/Line
Mic/Line 切替	自動
ファンタム電源	入力 1～4、5～8 用の +48V スイッチ
アナログ出力	
メイン出力	10 x リアパネルのバランス 1/4 インチ TRS ジャック
ステレオヘッドフォン出力	2 x フロントパネルの 1/4 インチ TRS ジャック
メインモニター出力レベルコントロール	フロントパネル上
ヘッドフォンレベルコントロール	
その他の入出力	
ADAT 入出力	2 x TOSLINK オプティカルコネクタ： 44.1/48kHz の場合 8 チャンネル 88.2/96kHz の場合 4 チャンネル 176.2/192kHz の場合 2 チャンネル
S/PDIF 入出力	2 つのフォノ（RCA）はソフトウェア上で ADAT ポートに再割り当て可能
ワードクロック出力	BNC コネクタ
データコネクタ（Mac 用）	1 x Thunderbolt コネクタ
MIDI 入出力	2 x 5 ピン DIN ソケット
重量および寸法	
幅 x 奥行 x 高さ	482.5mm x 43.9mm x 291mm 19 インチ x 1.73 インチ x 11.46 インチ
重量	4.35kg 9.59 ポンド

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関する質問がある場合は、Focusrite Answerbase にアクセスしてください。
www.focusrite.com/answerbase このウェブページでは多数のトラブルシューティング例を紹介しています。

著作権表示と法定通知

Focusrite は登録商標であり、Clarett 8Pre は Focusrite Audio Engineering Limited の商標です。

その他全ての商標および商品名はそれらの個別の所有者の財産です。

2015 © Focusrite Audio Engineering Limited. 禁無断転載。